

諏訪湖クラブニュース No. 28



も く じ

- 諏訪の今昔と未来に思いを寄せて
- 諏訪に住んでの感想
- 平成31年の御神渡しについて
- 2019年度活動報告
- 東京オリンピック2020 聖火ランナーに選ばれて
- シルクの縁に結ばれて
- 理事会報告

諏訪湖の今昔と未来に思いを寄せて

新入会員 (長野県議会議員) 宮下 克彦

諏訪湖クラブの皆さん、いつものご活躍に感謝と敬意を申し上げます。去年は諏訪湖の日も決定され、ますます活動が期待されます。

さて、私が育った昭和30年代の諏訪湖の話をしめすと、私の実家は諏訪市の豊田有賀の諏訪湖のほとり、石舟渡と呼ばれ、今ではガラスの里がありますが、当時は汽船場(きせんば)と呼ばれていました。家のすぐ東に諏訪湖が波打ってドロ舟が停泊し、漁協にも所属していた父は大四ツ手で毎朝フナやコイ、ときにはうなぎやナマズもとり、食卓を賑わしていました。岸边はいかにもうなぎが住んでいそうな石積みに波が押し寄せては引き、ヨシ原が夏になると新川河口に広がります。今のガラスの里の位置は全く諏訪湖の沖で、湾岸はヨシのベルトが豊かな帯状に取り巻いていました。これらの岸边が諏訪湖を日々浄化してくれていたのだと思います。

一方、諏訪の明日を考えると、豊かな諏訪湖を核に多くの人を惹きつける都市を目指すことが諏訪の未来につながるのではないかと考えます。県では諏訪湖環境研究センター(仮称)の検討を進めていますが、市町村も参加し浄化について意見を統合して主体的に研究し、湖の活用までをリードするセンターを期待します。大きな期待を込めて皆の力が結集するセンター機関を生み、育てていきましょう。



諏訪に住んでの感想

新入会員 小津 豪志

夕方、新宿発 諏訪行き的高速バスに乗ると着く頃には夜も更ける。見上げれば東京では考えられない程の広い空がそこにはあり、綺麗な星空がよく見える。この景色を見る度に「あー、諏訪に戻って来たな」と感じる。

東京で生まれ育ち、諏訪に来て2年弱が経過する。すでに諏訪は私の第二の故郷とも言える。まだまだこの土地には知らないことも沢山あるが、都会で生まれ育った若者の目に諏訪はどんな場所に映っているか書いて欲しいとのオファーがあったため、この文章を書くに至った。

まず、謝らないといけないが、私は就職をするまで「諏訪」という地域を知らなかった。大学の研究室にリクルートに来た会社の方に「旅費を出すから就職試験を受けに来て欲しい」と言われ、小旅行のつもりで何の気なしに試験を受け内定



し、現在もその会社に通っている。縁もゆかりもない土地に来て、私はまず「諏訪」という地域を知るため多くの人に「諏訪には何がありますか?」と聞いて回った。地元で長く住んでいる方の回答の多くは「あるのは諏訪湖くらいで、他は何もないよ」というものであった。

自然が豊かで、全国に1万を超える諏訪神社の

総本山があり、諏訪湖の周りにはあり得ない数のミュージアムが点在する。温泉の数も日本屈指で、花火の日には人口の10倍の人間がこの土地にやってくる。

果たして、本当にこの土地には何もないのだろうか?

人がいない、何もないなどの声を地元の人から聞くが、それは間違いであると気付いてほしい。私も住んでいた東京下町がとてもいい場所だとは思っていなかったが離れてみて、本当に良さが



わかる。自分の住んでいる場所のことを良いという人はそうはいないものである。

大人たちが自分たちの住んでいる土地に誇りを持たずして子供は自分の生まれた土地を誇りに思えるのか。そんなことでは若者が外に出て、また戻って来たいとは思えないのではないか。

縄文から続く歴史があり、今も連綿と受け継がれる素晴らしいものがたくさんある。何か新しいものを取り入れる前にまずはこの土地に今ある良いものをしっかりと認識し、自分の土地に誇りを持つ大人が増えるのが大事なのではないか。

そんな大人を一人でも増やしたく、私はこの地域を少しでも盛り上げたいのだ。

今年の御渡り観察

長い歴史を持つ御渡りの観察ですが、昨年度の観察は渋崎地区の総代（笠原清一、藤森雅史）を中心にして、平成30年 1月 6日小寒の日から大寒の1月20日をはさみ2月4日立春まで（記録は2月9日まで）行われました。早朝6時半に舟渡川の河口に突き出た先に出て、水温と氷がある場合はその厚みを測りました。水温は水面下50cmほどの温度です。

本年度は残念ながら、全面結氷にいたらず、御渡りを見ることは出来ませんでした。しかし、平時には立ち会えない時間の冬の諏訪湖にたつと月の位置が日々変わり、7時頃には山の端から昇る冬の朝日を見ることができ、波にゆれて氷が発する不思議な音を聞くこともでき、朝が苦手な者にとっては大変貴重な時間を過ごすことができました。また、マスコミの方々も毎日ご参加頂き、色々なお話を伺うことができたことも収穫でした。

2月4日（立春）、宮司さんにより、「明けの海」と暫定認定されました。その後しばらくは諏訪湖の様子を見ながら、宮司さんにより注進状2通、大総代宮坂により注進記録帳の作成が行われ、2月16日八劔神社総代全員の実印をもらい、書類を整えました。2月23日昼から八劔神社にて注進報告祭、午後14時から諏訪神社上社にて注進祭を行い、今年の御渡り関連の神事を終わりました。

御渡り時の占いについて宮司さんにかがったところ、ある時期から占いが行われるようになったようだが、御渡り自体がありがたい事であり、占いが目的の神事ではない。明けの海のはきは、占いは行なわれていないとの事でした。かつては御渡りができることが当たり前だったので、できない明けの海は、少々不安な予感をいだかせたのかもしれませんが。



写真 -1 早朝の諏訪湖岸から八ヶ岳方面を望む



写真 -2 早朝の諏訪湖の水温測定

地球温暖化が進む中、今後2年も御渡りを見る可能性が少ないと予想されます。他力本願ながら、地球温暖化を覆せるよう、みなさまのお力添えをお願い申し上げます。

今年の御渡り監視記録

期間	平成31年1月8日～2月9日、33日間
最低気温	-9.5℃ 1月10日
最高気温	12.3℃ 2月7日
諏訪湖の水溫 最低	0.2℃ 1月10日
最高	3.9℃ 1月26日
諏訪湖の氷の厚さ(最大)	1.5cm 2月2日



写真-3 八ヶ岳山麓からのご来光

御渡りとその報告(注進)

御渡り(正式には「御渡」)は、平安時代や鎌倉時代の和歌にも登場しています。また、諏訪地方に残る文献としては、嘉禎3年(1237)制定の物忌令にも諏訪の七不思議の一つとして記載され、延文元年(1356)の「諏方大明神畫詞」にも御渡りの記載があります。

注進については、宝治3年(1249)の諏訪信重解状に御渡りの注進の使者について書かれており、注進先については書かれていませんが、この頃には注進が行われていたことが分かります。室町時代には注進状の写しも残っており、室町幕府の奉行所に提出していたようです。室町幕府滅亡後も、上社大祝から注進されていたようで、甲斐武田家の奉行所下武田氏の諏訪郡代へ送られたものと考えられます。注進状の最も古いものは、応永4年(1397)の神長官守矢家史料、「応永年間書并古記色々取調中」に写しとして残っています。その後の史料としては、大祝諏方家文書の「當社神幸記」に残っており、これは嘉吉3年(1443)から天和2年(1682)まであり、脱落はあるようですが、240年にわたる記録です。天和3年(1683)以降は、八劔神社の「御渡帳」に記録されており、これは明治4年(1871)まで記録されています。その後一時中断時期がありますが、明治26年(1892)からは、八劔神社に「湖上御渡注進録」として記録が残っています。



写真-4 平成30年2月5日
前期総代による御渡神事

参考資料

茅野市神長官守矢資料館 史料目録 「御渡 史料と科学からみる諏訪の不思議」 2018.3.28

八劔神社宮司 宮坂 清 諏訪湖創生ビジョン講演 諏訪湖に学ぶ

「神々の湖～諏訪湖の不思議～御渡り」 2019.5.27

御渡りの出現する気象条件

御渡りの出現する条件として次のことが言われています

- ② 日最低気温がマイナス 10℃以下の日が 3 日以上続くこと
- ② 1 月の平均気温が マイナス 2℃以下になる
- ③ 1 月の日最低気温の平均が マイナス 6℃以下になる

21 世紀に入って御渡りができたのは平成 30 年を入れて 7 回で、比率にして 23%と低いのは地球温暖化のせいでしょうか、諏訪の人は御渡りが見られないと、私を含めて不安になるようです。

21 世紀である平成 13 年（2001 年）からの記録を表にしてみました。 表-1

和暦	西暦	御神渡り	凍結指数				1月の日平均気温			⑤-10度以下
			②凍結指数	①最大	1月1日累積温度	③最小	日平均気温	日最高平均	④日最低平均	
H31	2019		352	463	385	111	▲ 0.8	4.1	▲ 5.7	0
H30	2018	○	462	344	220	▲ 118	▲ 1.2	3.4	▲ 5.7	4
H29	2017		409	404	334	▲ 5	▲ 0.8	2.9	▲ 5.0	3
H28	2016		307	460	426	153	▲ 0.3	4.3	▲ 4.3	3
H27	2015		429	390	272	▲ 39	▲ 1.4	3.0	▲ 5.6	3
H26	2014		529	404	301	▲ 125	▲ 1.8	3.6	▲ 6.3	5
H25	2013	○	559	331	203	▲ 228	▲ 2.5	2.4	▲ 6.9	10
H24	2012	○	488	419	310	▲ 69	▲ 2.2	2.3	▲ 6.5	6
H23	2011		491	406	350	▲ 85	▲ 2.7	2.3	▲ 7.2	3
H22	2010		298	348	288	50	▲ 0.4	4.5	▲ 5.0	1
H21	2009		319	368	295	49	▲ 0.6	4.4	▲ 5.3	3
H20	2008	○	496	394	351	▲ 102	▲ 1.3	3.2	▲ 5.3	15
H19	2007		292	445	401	153	▲ 0.1	4.4	▲ 4.1	0
H18	2006	○	504	393	215	▲ 111	▲ 2.1	2.8	▲ 6.3	6
H17	2005		413	411	351	▲ 2	▲ 1.5	3.1	▲ 6.2	2
H16	2004	○	451	411	326	▲ 40	▲ 1.9	3.4	▲ 6.6	5
H15	2003	○	584	298	184	▲ 286	▲ 2.7	2.3	▲ 8.1	14
H14	2002		384	306	174	▲ 78	▲ 0.2	4.6	▲ 4.4	2
H13	2001		643	436	324	▲ 207	▲ 2.7	1.7	▲ 7.3	19

表-1 2001 年からの諏訪湖の気象データ 気象庁 HP より

この表から、御渡りが出現した年は上記の条件をほぼ満たしていることがわかります。しかし、平成 13 年（2001 年）は、-10 度以下が 19 日もあり他の条件を満たしているにもかかわらず御渡りが出現していません。宮坂平馬さんから入手した八剣神社の記録にも出現しなかったと記録されています。なぜでしょう？ 再び諏訪測候所のデータを調べてみました。過去の一あたりりの降雪量の 1 位が 2001 年 1 月 21 日 40 cm、2 位が同年の 1 月 19 日の 37 cmと短期間に 77 cmの積雪があったことがわかりました。雪の下に御渡りが発生したのを見逃したわけでもないようです。

御渡りは気温上昇の膨張でできるのでは

夜の凍み上がりでできるのではなく日中の気温上昇で膨張してできるのが正論ではないかと思うようになりました。平成 30 年の御渡りを取材していたスタッフが日中に目の前で御渡りができたのを動画に残したそうです。

凍結指数と御渡りの出現の可能性

八剣神社の宮坂清宮司に叱られるかもしれませんが、凍結指数（気温を累積して最大値—最小値を数値化したもの）と御渡りの出現した年の関係を検証してみました。

測定の始まりを何時にするかは議論のあるところですが、諏訪湖の全体の水温の影響を考慮して10月1日から4月30日までとしました。気温は日平均気温では朝寒い日は日中に気温が上昇するので寒さの指標としては日最低気温としました。（夏至から約2か月後に最高気温を記録する）

2001年から2019年までのデータをグラフにしたのが下のグラフです

凍結指数（日最低気温の累積値）

日最低気温を累積していきます。日最低気温が0℃以下になると累積日最低気温は下りはじめ、日最低気温が0度以上になると累積日最低気温は上がり始めます。1月の区間をわかり易くするため図中には網掛けで示してあります。

図-1 から12月中旬に日最低気温が0度以下になることがわかります。この温度が諏訪湖を温めて（保温）いることとなります。ちなみに、過去19年間で最大を記録したのが2019年（2018年12月）です。図中の緑白抜き字体は御渡りが発生した年となります

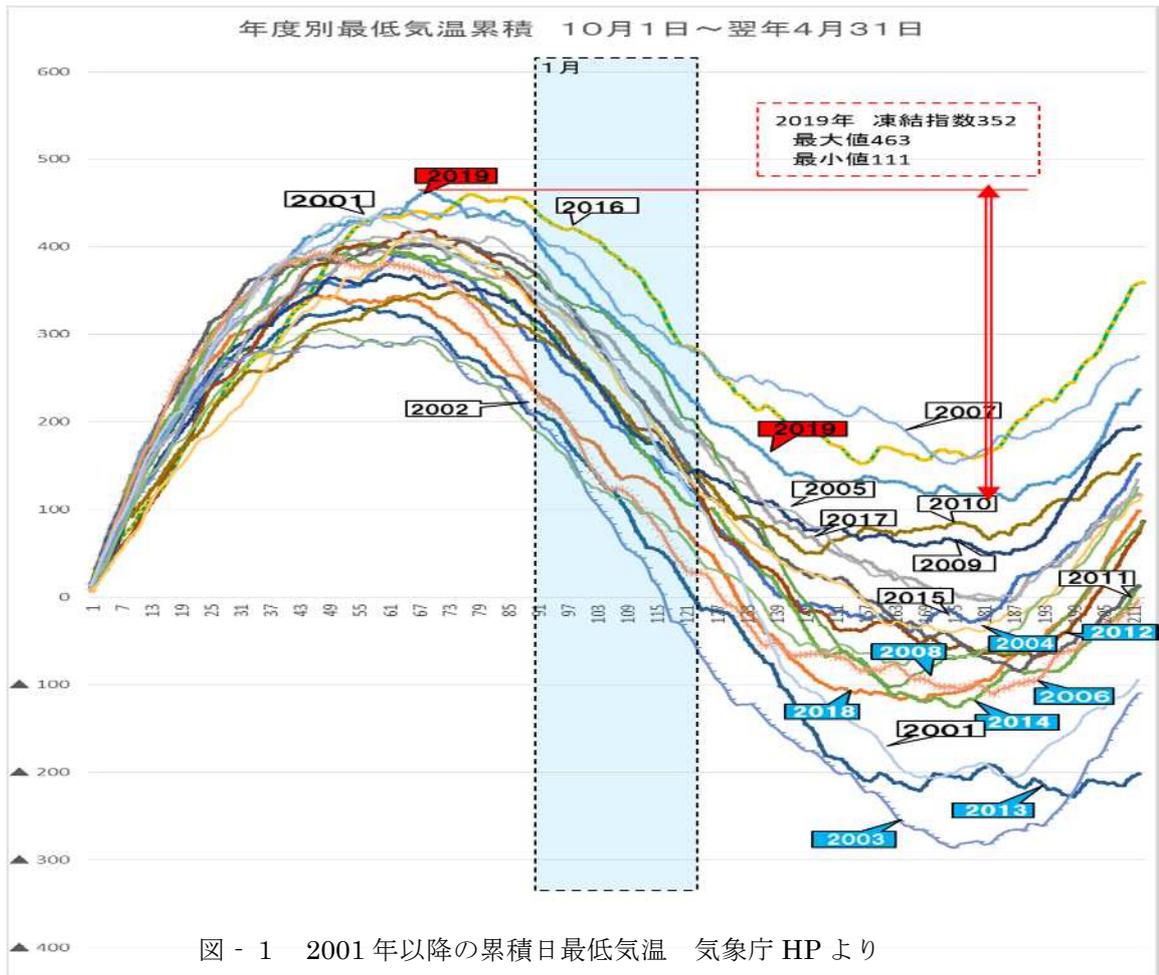


図 - 1 2001年以降の累積日最低気温 気象庁 HP より

御渡りの可能性についてまとめてみました（表-1と図-1を参考）。

- ② 累積最大値は 350℃以下
- ②凍結指数は、440℃以上
- ③ 累積最小値は -100℃以下

1月1日時点で凍結指数が220℃以上あると御渡りの出現が難しいようです。 例外（平成20、24年）

2019年度 諏訪湖クラブ活動状況

会長 沖野 外輝夫

1. 理事会の開催：4/14、5/12、7/21、9/15、10/13、11/17、12/15、1/19、2/16、3/15
2. 総会の開催：6/2（日）諏訪市文化センター（金子田実さんのカンボジア紀行）
3. 諏訪湖浄化研究：第4フェーズ：ナノバブルの浄化有効性に関する検討
 - 1) 曽根遺跡周辺での魚探の有効性調査（8.6）
 - 2) 「（株）いであ」実験時の観測（8.25）
 - 3) 「鴻池組」の実験に協力（9.10～）
4. 諏訪湖創生ビジョン推進協議会（事務局：沖野、宮原、高木、五味、山村）
 - 1) 事務局会議等：3.11：信州協働大賞受賞）、総会（3.12、5.27））、事務局会議（4.23、7.10、9.12、）諏訪湖の日制定キックオフイベント（9,23）
 - 2) 諏訪湖通信の発行：第10号～第17号
 - 3) 部会、ワークショップに参加
 - 4) 推進会議のロゴマーク選定委員会に参加、選定
 - 5) 諏訪湖読本諏訪振興局に提出、契約完了（7.10、73,440円）
 - 6) JICA2019年度特別研修「ミャンマー国（インレー湖）統合的流域管理および治山・治水」に対応（11.1）
5. 諏訪地域を美しくする推進会議)
 - 1) 運営委員会（6/28、2/27）
 - 2) 総会に出席
6. 全国一斉水質調査に参加：6/2（諏訪湖天竜川水系約30地点担当）
実行委員会実行委員会全国委員（長野県）として参加
長野県水質マップの作製（長野県水質マップネットワーク）
*河川財団助成事業
7. 諏訪ユネスコ協会総会で講演（沖野）
8. 「すわまちクラブ」の活動に協力
9. 「しがっこクラブ」の活動に協力
10. 鴨池川エナジーパークの活動に協力
11. 信州ネットSUWAの活動に協力（信州ネット総会 6.13、7.27、9.28、1.22）
12. 長野県（「諏訪湖環境研究センター（仮称）のあり方検討会」、）
諏訪市（環境審議会、行政改革推進委員会、公民館四自然講座、等）
茅野市（博物館協議会等）
の各種委員会委員としての協力
13. 諏訪湖クラブホームページ

 <https://www.suwako-club.com/>



「東京オリンピック2020」の



聖火ランナーに選ばれて

会員 小口 良平

このたびは「東京オリンピック2020」の聖火ランナーに選んで頂きましたことを報告させていただきます。

実は聖火ランナーの公募をするにあたり、諏訪湖クラブの高木さんに「推薦人」の件でご相談させて頂きました。高木さんからは、「諏訪湖クラブの会長である沖野先生以外に適任者はいない」そう言って頂き、改めて沖野先生にご推薦をお願いし、非常に深い言葉を頂きました。

晴れて12月17日に内定を頂くことができました。長野県は2328人中の22名で、約106倍であったそうです。改めて諏訪湖クラブの実直な活動の賜物の恩恵を頂き、深く感謝します。選考委員会からは「志望動機にある、『好きなことを職業にするために、ない職業は自分で作ればいい』という子供たちに向けたメッセージと、地域貢献を評価しました。と言って頂きました。その想いを込めて、当日は走りたいと思います。地域に育てて頂いた感謝を還元し、聖火だけでなく、子供たちへ未来をバトンタッチしていきたいと思います。世界を旅してNAGANOが冬季オリンピックを通して知られたことからオリンピックの影響を知っています。聖火ランナーを機会に諏訪湖の美しさを世界に発信したいと思います。



シルクの縁に結ばれて

理事 高木 保夫

ローマといえばバチカン、ミラノといえば最後の晚餐、コモといえば「絹」。コモは、イタリア北部スイス国境近くに位置する、国際的なリゾート地として有名です。十六世紀に始まる絹織物業も盛んな土地です。ここへ嫁がれたのが、岡谷市出身の小口ひさえさんです。このほど岡谷蚕糸博物館高林館長さんのご紹介で、中村文明さんと三組の夫婦で小口さんをお訪ねしました。



小口さんは、諏訪湖畔で日本アルプスを眺めて育ちました。岡谷東高校から美術を志して上京されます。親せきから、「芸術をするなら、イタリアよ！」とイタリア大使館の知人を紹介され、留学を決意します。父上から二年間の留学を許されますが、旅費は自前と言われる、横浜港からナホトカ経由のシベリア鉄道でモスクワ入り。そこから、ウイーンを経てイタリアへ渡りました。あこがれのファッション大国イタリアでは、テキスタイル(織物・布)の図案を描く学校で学びます。

そこで出会ったのが、ご夫君となるプロコ

ビオさんでした。スカーフやネクタイのデザイナーとしてご活躍されました。微妙な色づかいと東洋的なセンスに定評があります。親戚には、明治維新のころ横浜でご活躍された方もあり、お姑さんからは、大歓迎されたそうです。

小口さんは、ミラノのホテルへお迎えくださいました。飛行機が遅れたため、ご自宅ではなく市内での外食となりました。日本人七名の一行に、ウエイトレスさんは、英語表記のメニューを用意しましたが、ひさえさんが早口のイタリア語でてきばきと注文くださいました。その手際よさに、一同うっとりでした。ご実家より託された「うなぎの蒲焼」は、ご夫君が大好物とお喜びでした。岡谷シルクのスカーフも、その場でエレガントにお付けいただきました。

翌日、小口さんが「イタリアの湖の中で一番愛してやまないコモ湖」を、じっくり散策いたしました。絹と湖という諏訪とのご縁を満喫した旅でした。



理事会報告

- 第114回 日 時：平成31(2019)年 1月20日 (日) 10:00～
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 宮坂 鴨志田 山村 金子 田代 八幡 高木
内 容：1. 諏訪湖浄化実験 2. 全国一斉水質調査 報告書
3. 諏訪湖読本 4. 創生ビジョンの取り組み
5. ホームページについて
- 第115回 日 時：2月17日(日)
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 宮坂 鴨志田 山村 金子 田代 八幡 高木
内 容：1. ホームページについて 2. 平成30年度諏訪湖浄化実験
3. 諏訪湖読本について 4. 平成31(令和元)年度総会について
5. その他
- 第116回 日 時：3月17日(日)
場 所：スマートレイク事務所
出席者：宮原 宮坂 五味 市川 八幡 田代 入江 高木 長崎 鴨志田 田辺
内 容：1. 諏訪湖創生ビジョン推進会議について 2. 信州ネット SUWA について
3. 総会について 4. その他
- 第117回 日 時：4月14日(日)
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 八幡 市川 田代 山村 金子 入江 村上 佐原 千見寺
野田 田辺 鴨志田 高木
内 容：1. チェルノブイリ連帯基金 2. 総会について 3. 浄化研究
4. 四賀メガソーラー 5. 諏訪湖読本 6. その他
- 第118回 日 時：5月12日(日)
会 場：スマートレイク事務所
出席者：沖野 宮原 宮坂 田代 村上 五味 八幡 金子 市川 鴨志田 田辺 高木
内 容：1. 諏訪湖創生ビジョン 2. 総会の議案審議
3. メガソーラー勉強会 4. 諏訪湖読本 5. 浄化実験
- 《 6月2日(日) 定時総会 》 諏訪市文化センター第3会議室
- 第119回 日 時：7月21日(日)
場 所：スマートレイク事務所
参加者：沖野 金子 八幡 市川 鴨志田 五味 長崎 上久保 高木
内 容：1. 諏訪湖読本 2. 諏訪湖の日 3. エネルギーマルシェ
4. 諏訪湖浄化実験 5. すわまちくらぶ5周年
- 第120回 日 時：9月15日(日)
場 所：スマートレイク事務所
参加者：沖野 金子 八幡 田代 宮坂 鴨志田 五味 高木
内 容：1. 環境会議関連 2. ホームページ運用について 3. 田辺堰について
4. 信州ネット SUWA 5. 諏訪湖の日 キックイベント 6. その他
- 第121回 日 時：10月13日(日)
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 八幡 田代 山村 五味 宮坂 小津 高木
内 容：1. 建設事務所との打ち合わせ 2. 新入会員 紹介 3. 忘年会について
- 第122回 日 時：11月17日(日)
場 所：スマートレイク事務所
出席者：沖野 八幡 市川 田代 五味 鴨志田 金子 小津 長崎 山村 高木
内 容：1. ニュース原稿 2. 忘年会(拡大理事会)
3. すわまちくらぶの今後 4. その他
- 《12月15日 忘年会(拡大理事会) 諏訪市 『紅蘭』》
- 第123回 日 時：令和2(2020)年 1月19日(日)
出席者：沖野 宮原 田代 鴨志田 下平 井上 八幡 五味 山村 長崎 沖野 高木
内 容：1. クラブニュース編集 2. 身近な水環境の全国一斉調査
3. 信州ネット SUWA 運営委員会 4. ミャンマーインレー湖との連携プロジェクト
5. 諏訪湖読本 中間報告 6. 創生ビジョン 7. 防災の市民組織立ち上げ 他

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局

TEL/FAX 0266-58-0490 E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp

<https://suwako-club.com/about.html>

諏訪湖クラブニュース

No.28

令和2年2月